

2024年3月期(2023年度) 決算説明資料



2024年5月14日
日本精化株式会社

内容

1. 2024年3月期 通期業績概要
2. 2025年3月期 通期業績予想
3. 設備・研究開発投資
4. 資本政策

内容

1. 2024年3月期 通期業績概要

2. 2025年3月期 通期業績予想

3. 設備・研究開発投資

4. 資本政策

2023年度 連結決算概要

	2022年度	2023年度	対前年 増減率	直近予想 (2023年10月30日公表)		中期経営計画 (初年度)	
	実績	実績		予想	予想比 増減率	目標	目標比 増減率
売上高(億円)	368.4	335.3	▲9.0%	355.0	▲5.5%	380.0	▲11.8%
営業利益(億円)	50.6	42.0	▲17.0%	44.0	▲4.6%	48.0	▲12.5%
営業利益率(%)	13.7	12.5	—	12.4	—	12.6	—
EBITDA(億円)	60.1	55.0	▲8.5%	57.2	▲3.9%	61.0	▲9.9%
EBITDAマージン(%)	16.3	16.4	—	16.1	—	16.1	—
経常利益(億円)	53.9	44.5	▲17.4%	47.0	▲5.3%	51.5	▲13.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	40.8	33.3	▲18.4%	32.5	2.4%	36.0	▲7.6%
1株当たりの当期純利益(円)	174.4	146.4	—	142.3	—	157.8	—

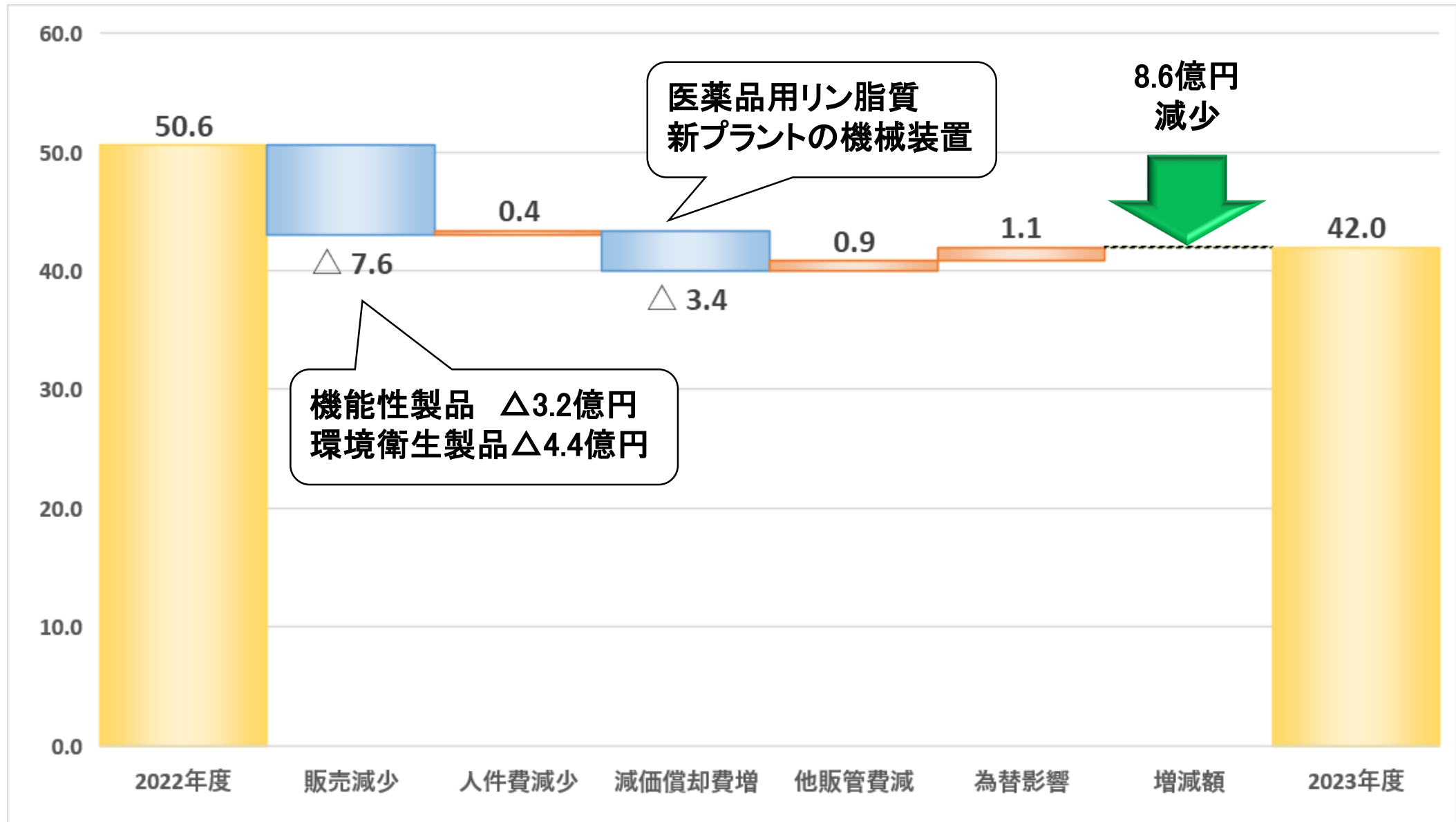
*EBITDA: 償却前営業利益

2023年度 連結 経営数値

	第13次中期経営計画		第14次中期経営計画		
	2018年度	2022年度	2023年度	2023年度	2026年度
	実績	実績	実績	計画	目標
売上高(億円)	280	368	335	380	410
営業利益(億円)	31	50	42	48	57
EBITDA(億円)	43	60	55	61	77
ROIC(%)	6.1	7.9	6.3	—	8.0
設備投資(億円)	5年間で109億円		17.7	4年間で120億円	
売上高研究開発費比率(%)	2.4	2.4	2.7	2.6	2.7

*ROIC: 投下資本利益率

2023年度 連結決算 営業利益分析



2023年度 連結決算 セグメント別概要

単位：億円

	2022年度			2023年度予想 (2023年10月30日公表)			2023年度			対前年 増減率			対予想 増減率		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性製品	284.5	41.6	50.1	271.0	37.0	49.3	262.0	36.0	48.1	▲7.9%	▲13.4%	▲3.9%	▲3.3%	▲2.6%	▲2.3%
ビューティケア	71.7	19.5	21.4	85.0	22.0	24.5	79.4	21.9	24.4	10.7%	12.7%	14.4%	▲6.6%	▲0.3%	▲0.3%
ヘルスケア	56.6	7.0	11.3	60.0	4.2	11.8	58.3	4.5	11.9	3.0%	▲35.9%	5.5%	▲2.9%	6.8%	1.2%
ファインケミカル	70.5	12.4	14.5	52.0	7.5	9.6	52.0	6.4	8.4	▲26.2%	▲48.4%	▲41.9%	0.1%	▲14.7%	▲12.3%
トレーディング	85.7	2.8	2.9	74.0	3.3	3.4	72.3	3.2	3.3	▲15.6%	17.0%	14.0%	▲2.3%	▲2.7%	▲2.4%
環境衛生製品 (ハイジーン)	80.7	7.4	8.1	81.7	6.0	6.6	70.8	4.9	5.4	▲12.3%	▲34.4%	▲32.9%	▲13.3%	▲18.8%	▲17.6%
その他	3.2	1.5	1.9	2.3	1.0	1.3	2.5	1.1	1.4	▲20.3%	▲29.8%	▲26.0%	10.1%	7.0%	5.0%
連結合計	368.4	50.6	60.1	355.0	44.0	57.2	335.3	42.0	55.0	▲9.0%	▲17.0%	▲8.5%	▲5.5%	▲4.6%	▲3.9%

2023年度概要

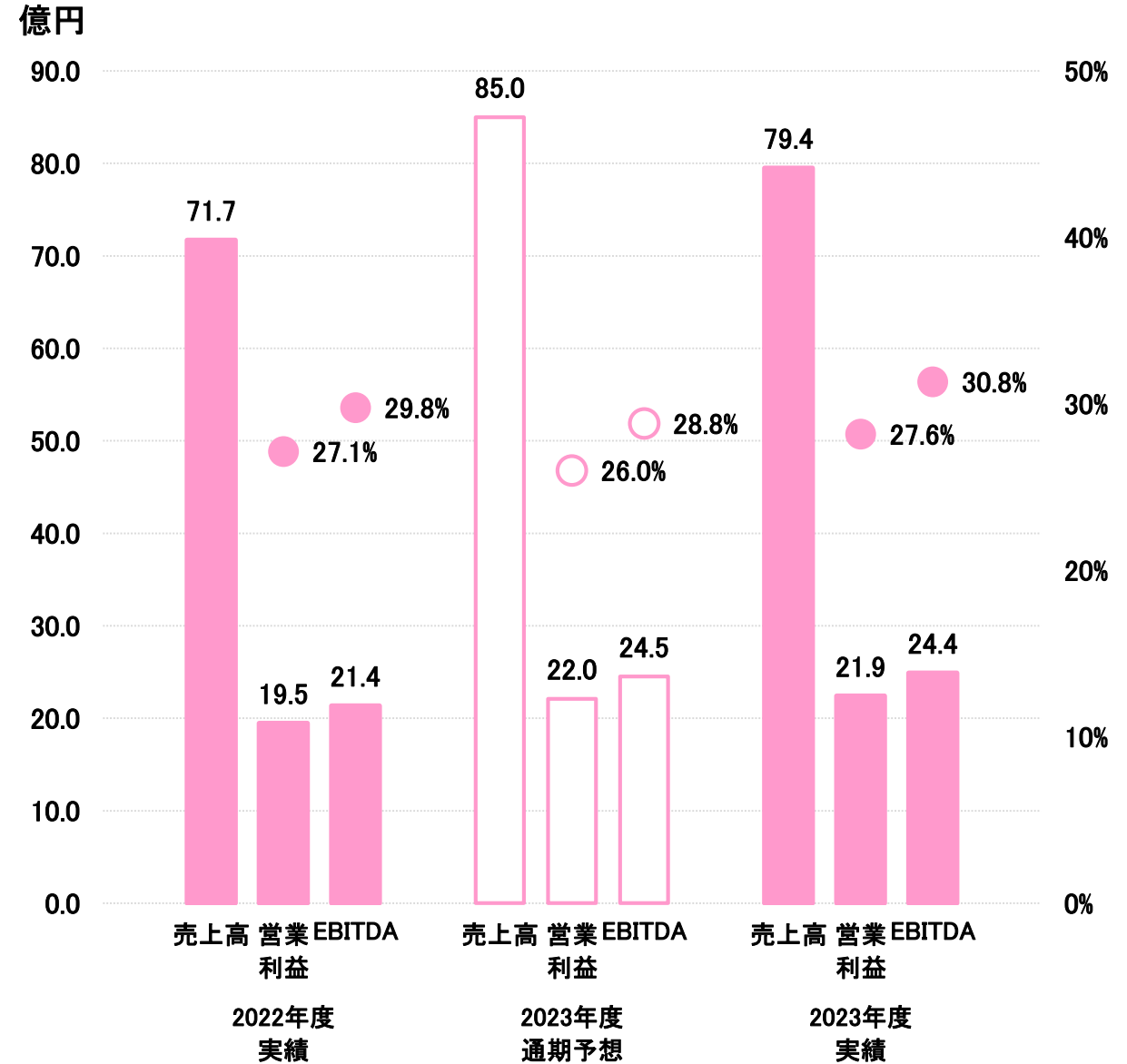
機能性製品 ビューティケア

対象品目

- ・化粧品用リン脂質素材
- ・化粧品用機能性油剤
- ・生理活性物質(美白主剤など)
- ・天然多糖類(シロキクラゲ多糖体、イヌリン)
- ・化粧品用WG誘導體(ラノリン・コレステロール)

2024年3月期 概況

- (+) サステナブル対応や各種認証(Non-GMO/RSPO/自然由来指数ISO16128など)で、海外向け化粧品用機能性油剤が好調。
- (+) 国内向け化粧品用リン脂質素材の販売が堅調。
- (+) 国内向け生理活性物質(美白主剤)の販売が堅調。
- (-) 国内向け化粧品用コレステロールの販売減少。



*WG：ウールグリース

2023年度概要

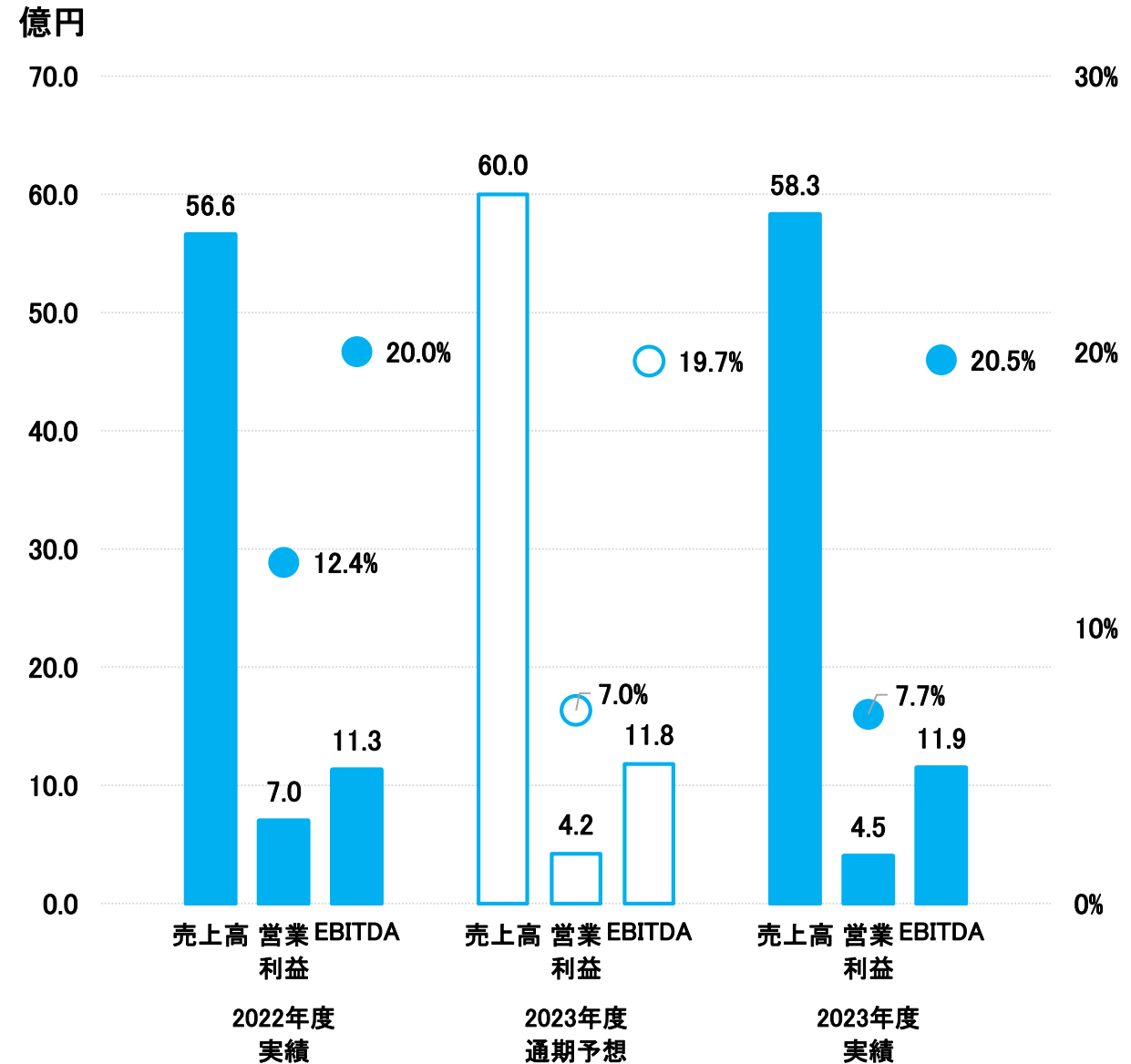
機能性製品 ヘルスケア

■ 対象品目・サービス

- ・医薬品用高純度リン脂質
- ・医薬品用WG誘導體(ラノリン／コレステロール)
- ・CDMO開発支援(リポソーム化／LNP化)
- ・医薬品中間体
- ・薬理／安全性試験(日精バイリス)

■ 2024年3月期 概況

- (+) ギリアド・サイエンシズ社向け:
新プラントでのテスト生産終了し商業生産開始。
- (-) 医薬品用リン脂質: 新プラントの減価償却費の増加。
- (±) 医薬品用リン脂質:
主要顧客の計画変更により下期へ偏重。
- (+) 湘南ラボを開設。新規テーマ獲得に貢献。
- (±) 医薬品中間体: 継続テーマへのリソース集中。



* WG: ウールグリース * LNP: リピッドナノパーティクル

* CDMO: 医薬品製造開発受託

2023年度概要

機能性製品

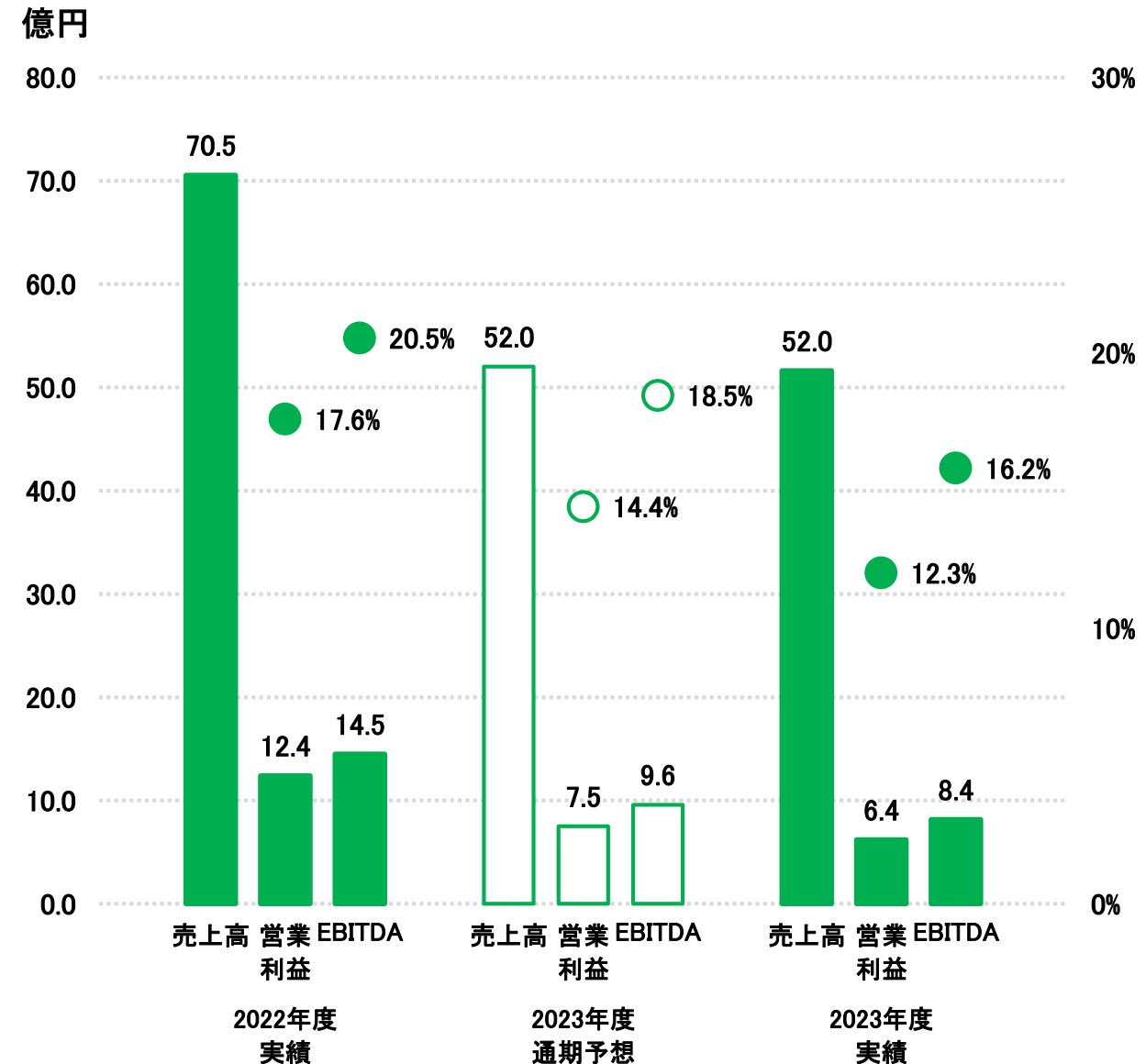
ファインケミカル

■ 対象品目

- ・電子材料、資源エネルギー用素材(各種酸クロライド)
- ・ペロブスカイト型(PSC)太陽電池用素材
- ・樹脂添加物(脂肪酸アמיד)
- ・各種WG誘導体(飼料用コレステロール)
- ・コーティング剤(NSC)

■ 2024年3月期 概況

- (±) 既存品の選択と集中を推進中。
(各種酸クロライド、コーティング剤を中心に)
- (-) 海外向け飼料用コレステロールの販売減少。
- (-) 中国での需要減による脂肪酸アמידの販売減少。
- (+) PSC太陽電池用素材: 社会実装が着実に進展。



2023年度概要

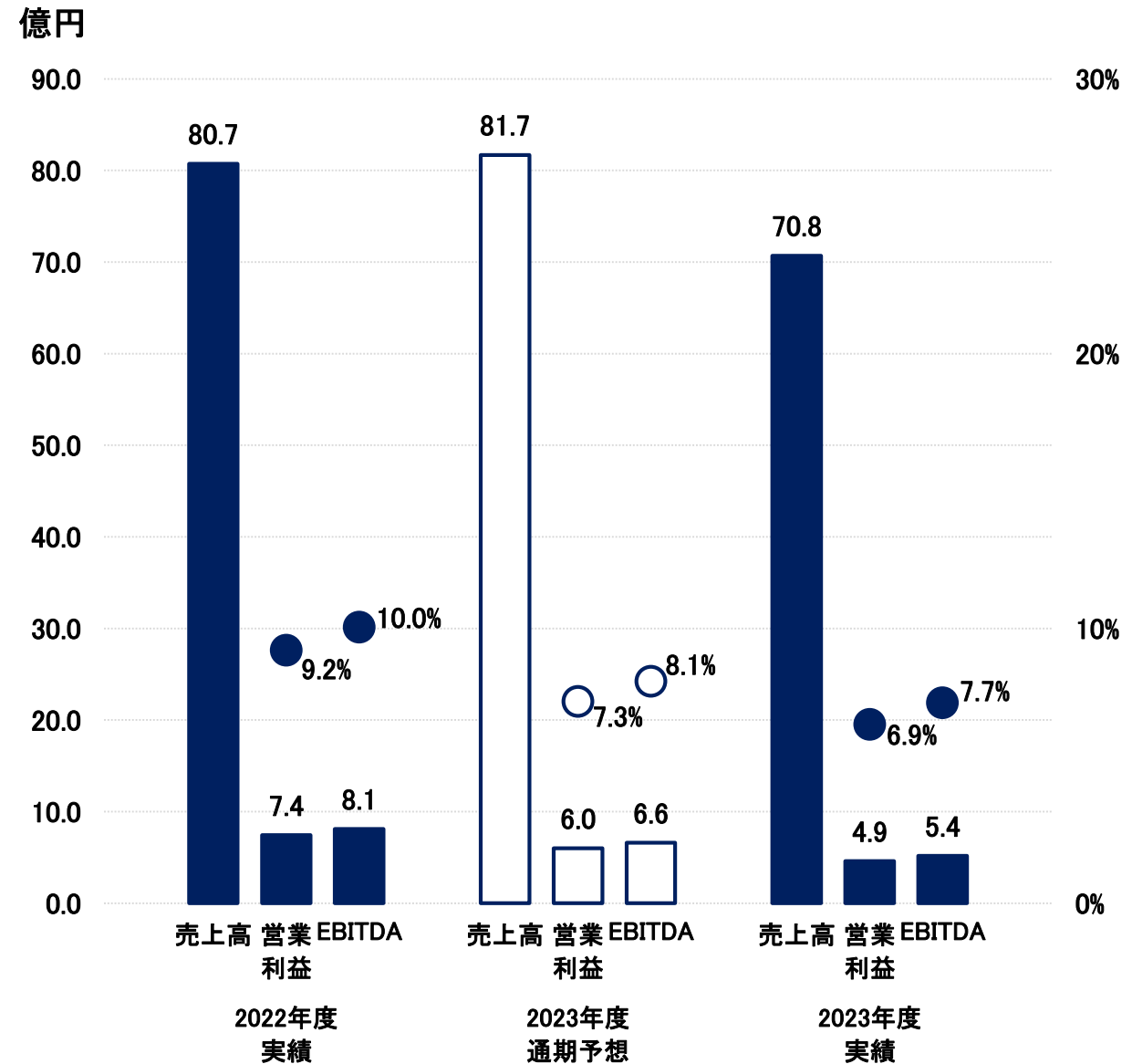
環境衛生製品 ハイジーン

■ 対象品目・サービス

- ・手洗い石鹼液
- ・手指消毒剤
- ・公衆衛生用品
- ・食品衛生用品
- ・医療用衛生用品

■ 2024年3月期 概況

- (一) 新型コロナウイルス感染症が第5類移行により、想定以上に市場が縮小し、流通在庫過多が影響。
- (一) 食品業界における食材価格高騰により、衛生用品切替の優先順位が低下。
- (+) 濃縮タイプやバイオマス容器など、サステナブル製品の拡販。



2023年度 連結貸借対照表

単位:億円

勘定科目	2023年度末残高	前年度末比増減	主な増減要因
現預金	128.6	+39.2	
売掛債権	91.7	+3.2	
たな卸資産	98.1	▲12.0	原材料▲15.1
有形固定資産	144.0	+1.7	
投資その他資産	122.4	▲0.9	
その他	9.7	▲3.4	
資産合計	594.5	+27.8	
買掛債務	39.5	▲3.0	
繰延税金負債	21.9	▲4.7	
その他	57.5	+20.9	未払法人税+7.4、設備未払金+5.2
負債合計	118.9	+13.2	
純資産合計	475.6	+14.6	自己資本比率78.5%
一株当たり純資産	2,074.07円	+89.49円	

2023年度 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円

区分	2023年度	主な増減要因
税引前利益	48.7	
減価償却費	14.4	
運転資本増加	7.3	
法人税等支払	▲12.7	
その他	5.1	
営業CF	62.8	
投資CF	▲6.3	有形固定資産取得▲8.5
(フリーCF)	(56.5)	
財務CF	▲25.5	配当▲14.6、自己株式の取得▲9.9
換算差額	0.7	
現金同等物増減	31.7	

2023年度 トピックス

○第14次中期経営計画(2023-2026年度:4ヶ年)をスタート

○戦略品目:リン脂質素材

→医薬品用リン脂質:オープンイノベーションのための「湘南ラボ」開設

○戦略品目:ペロブスカイト型太陽電池用素材

→新規ブランド: Spirokite™(スピロカイト)の立上げ、特設サイト開設

○サステナビリティ対応強化 →TCFDレポート2023

○統合報告書を公表

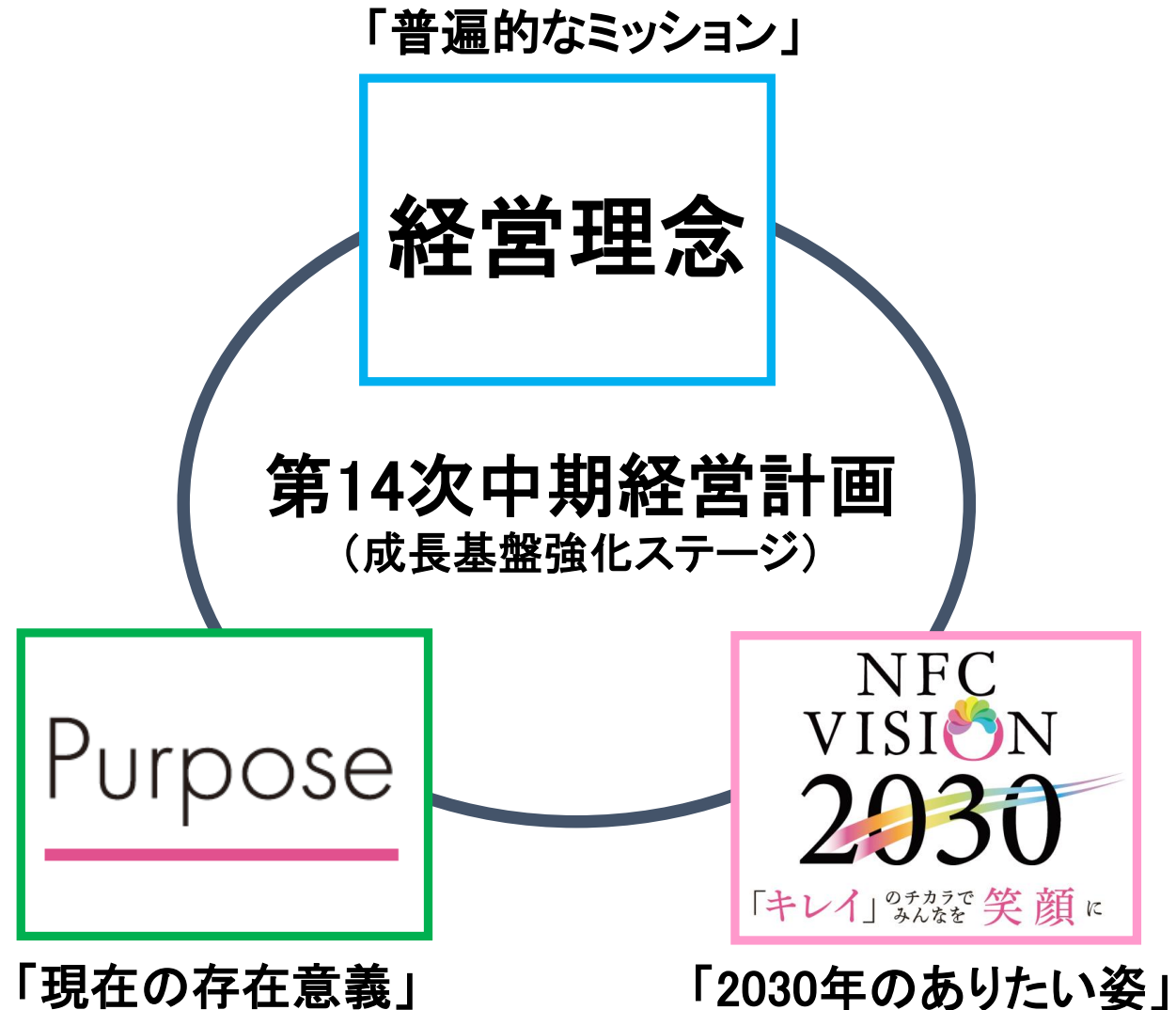
○EcoVadis社のサステナビリティ調査にて「ゴールド」評価取得

○Purpose(現在の存在意義)を策定



Purpose (現在の存在意義) を策定

Purpose
「カガク」と「キレイ」の
チカラで笑顔あふれる
サステナブル社会創造
に貢献し続ける



内容

1. 2024年3月期 通期業績概要
- 2. 2025年3月期 通期業績予想**
3. 設備・研究開発投資
4. 資本政策

2024年度通期 連結業績予想 概要

	2022年度	2023年度	2024年度	
	実績	実績	予想	前年比 増減率
売上高(億円)	368.4	335.3	357.0	6.5%
営業利益(億円)	50.6	42.0	48.0	14.3%
営業利益率(%)	13.7	12.5	13.4	—
EBITDA(億円)	60.1	55.0	61.7	12.3%
EBITDAマージン(%)	16.3	16.4	17.3	—
経常利益(億円)	53.9	44.5	49.0	10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	40.8	33.3	34.5	3.7%
1株当たりの当期純利益(円)	174.4	146.4	153.4	—

2024年度 連結 経営数値予想

	第13次中期経営計画		第14次中期経営計画		
	2018年度	2022年度	2023年度	2024年度	2026年度
	実績	実績	実績	予想	目標
売上高(億円)	280	368	335	357	410
営業利益(億円)	31	50	42	48	57
EBITDA(億円)	43	60	55	62	77
ROIC(%)	6.1	7.9	6.3	7.0	8.0
設備投資(億円)	5年間で109億円		17.7	30	4年間で120億円 (1)
売上高研究開発費比率(%)	2.4	2.4	2.7	2.9	2.7

(1) 2023-2026年度 4年間で総額120億円

*ROIC: 投下資本利益率

2024年度通期 連結業績予想 セグメント別

単位:億円

	2022年度実績			2023年度実績			2024年度予想			対前年 増減率		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性製品	284.5	41.6	50.1	262.0	36.0	48.1	279.6	41.2	53.9	6.7%	14.3%	12.1%
ビューティケア	71.7	19.5	21.4	79.4	21.9	24.4	88.5	22.8	26.1	11.5%	3.9%	6.8%
ヘルスケア	56.6	7.0	11.3	58.3	4.5	11.9	63.0	7.0	14.7	8.1%	56.1%	23.0%
ファインケミカル	70.5	12.4	14.5	52.0	6.4	8.4	53.6	8.0	9.7	3.0%	25.0%	15.2%
トレーディング	85.7	2.8	2.9	72.3	3.2	3.3	74.5	3.4	3.5	3.1%	5.9%	4.1%
環境衛生製品 (ハイジーン)	80.7	7.4	8.1	70.8	4.9	5.4	75.0	6.0	6.7	5.9%	23.0%	22.5%
その他	3.2	1.5	1.9	2.5	1.1	1.4	2.4	0.8	1.1	▲5.0%	▲25.3%	▲20.1%
連結合計	368.4	50.6	60.1	335.3	42.0	55.0	357.0	48.0	61.7	6.5%	14.3%	12.3%

2024年度予想

機能的製品 ビューティケア

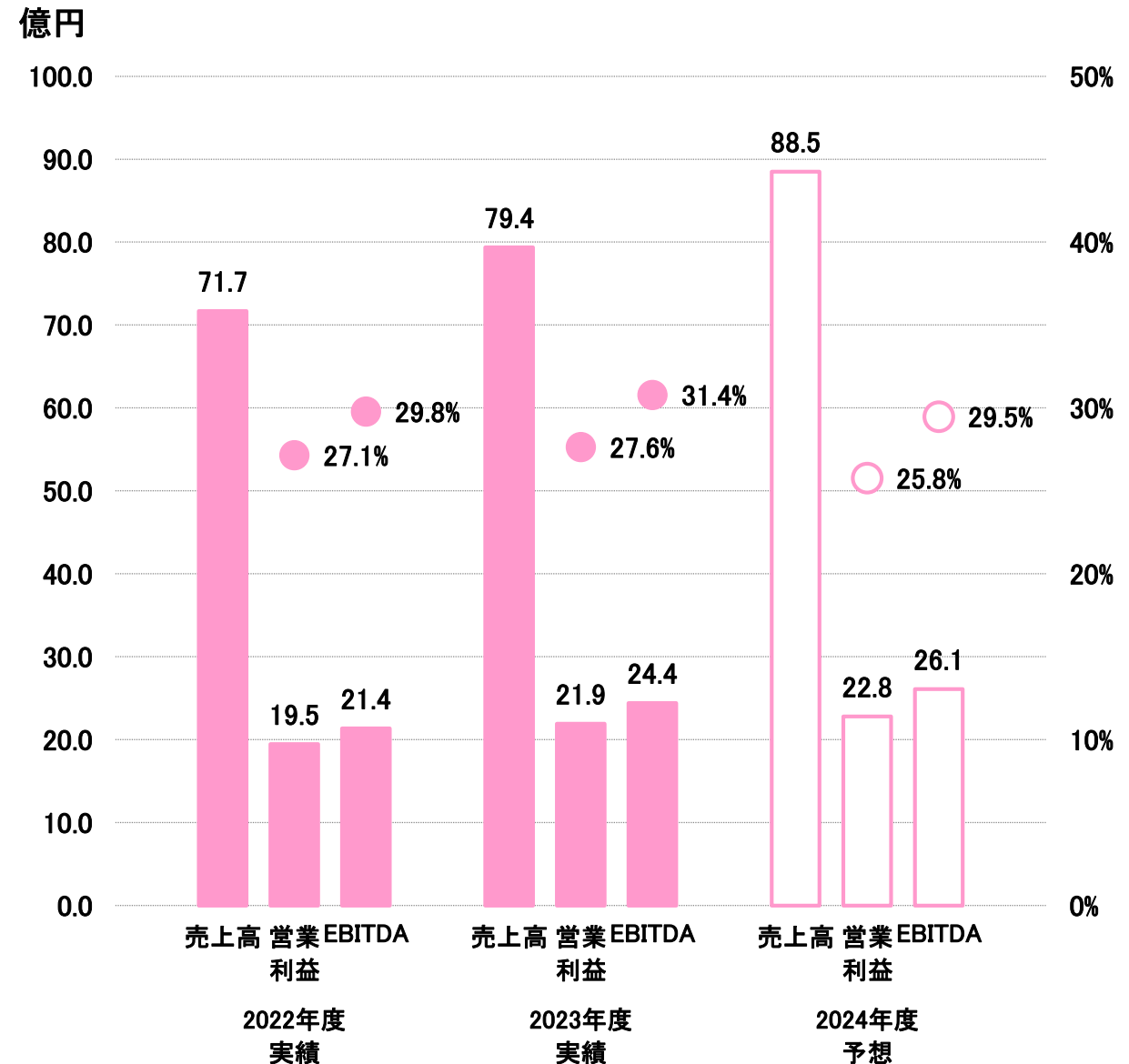
外部環境の予測

- (+) 欧米ブランドからのサステナブル素材への需要拡大。
- (+) 長期的には化粧品人口の増加でグローバル市場拡大。
- (+) 観光客増加によるインバウンド需要の回復。
- (±) 中国におけるローカル製品の優位性。

活動方針

- ・海外顧客へのマーケティング活動強化による海外売上拡大。
- ・オープンラボ: The Design & Creation Lab.(4月開設)での顧客との協業によるテーマ獲得と売上拡大。
- ・化粧品用リン脂質素材:
アジア、欧米市場への販売強化と新規用途探索の強化。
- ・サステナブル、各種認証への積極的な取組みの継続。
- ・化粧品用WG誘導體は、高付加価値品の販売に注力。
- ・化粧品原料プラント新設計画の推進。

*WG：ウールグリース



2024年度予想

機能性製品

ヘルスケア

外部環境の予測

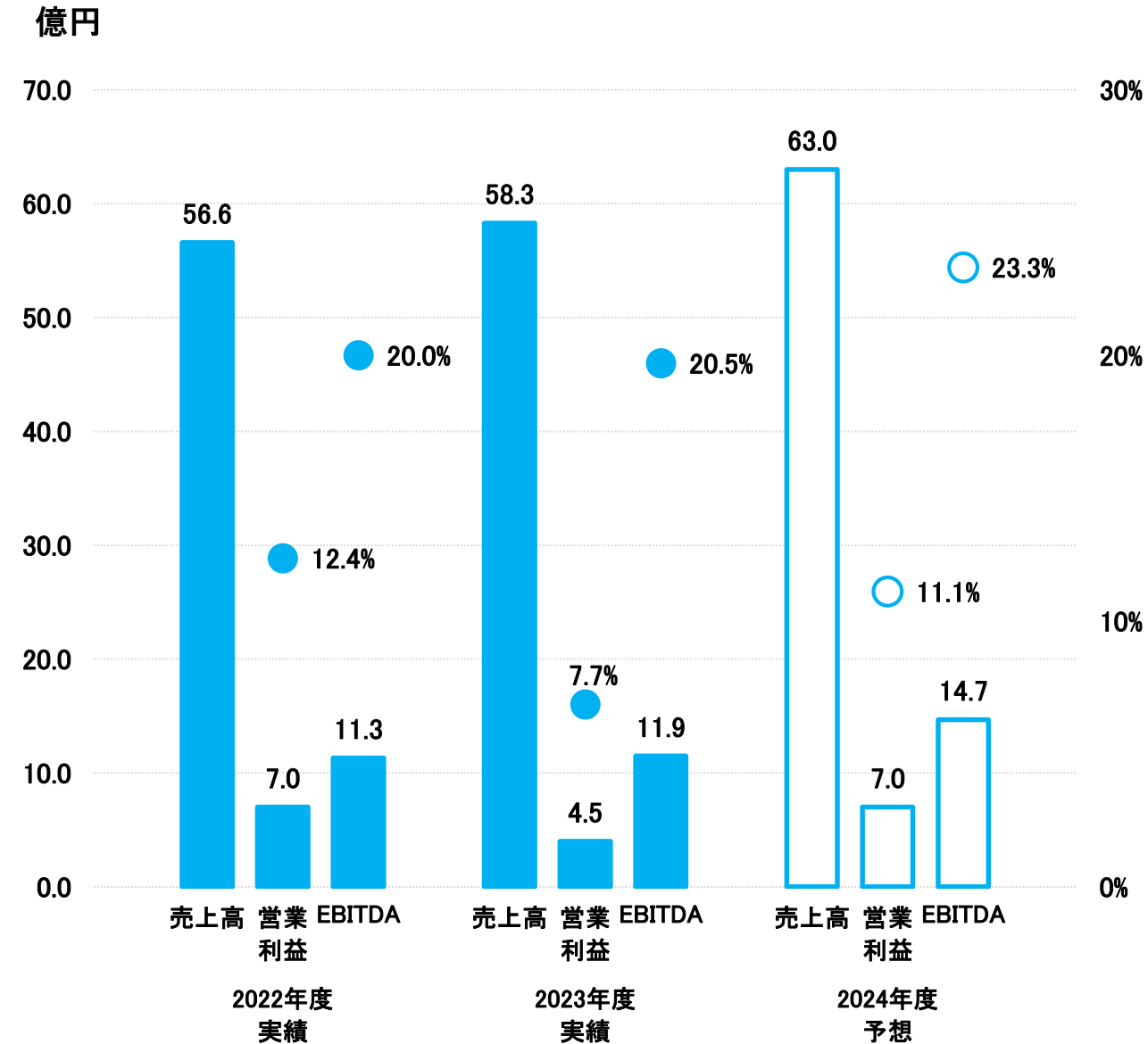
- (+) 成長モダリティに当社の医薬品用脂質の応用が可能。
- (+) 医薬品開発の分業化。
- (-) 競合の参入やM&Aによる競争激化。

活動方針

- ・ギリアド・サイエンシズ社向け: 安定した供給体制の維持。
- ・医薬品用高純度リン脂質／リポソーム、LNP:
独自機能性脂質を活用した製剤での差別化で顧客獲得。
新プラントへの生産の集約による効率化。
- ・湘南ラボでのオープンイノベーションの推進。
- ・医薬品用WG誘導體: 既存顧客への安定供給の継続。
- ・医薬中間体: 継続テーマへの注力と売上拡大。
- ・薬理／安全性試験: 国際競争力の強化による顧客獲得。

* WG: ウールグリース * LNP: リピッドナノパーティクル

* CDMO: 医薬品製造開発受託



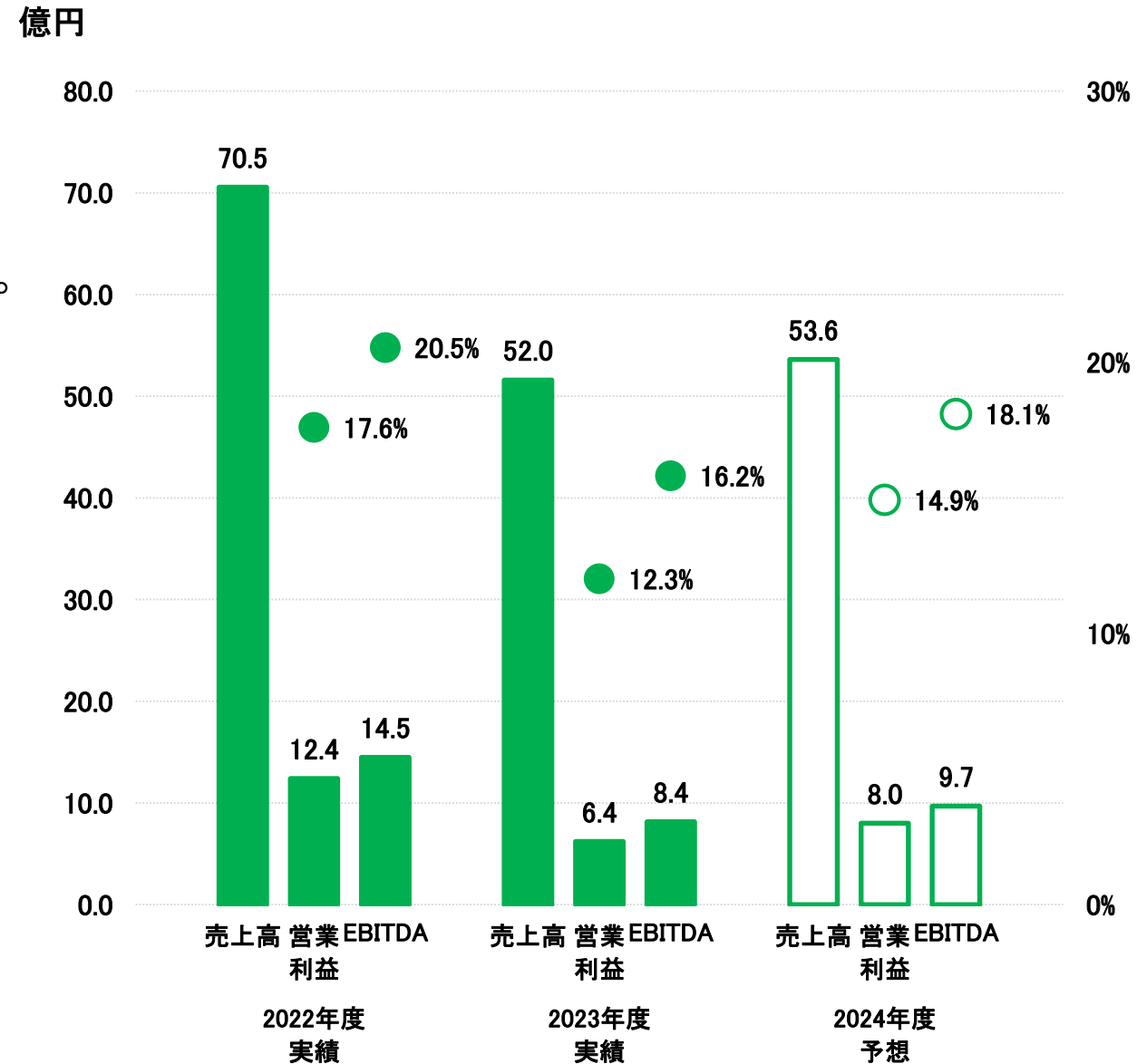
2024年度予想 機能性製品 ファインケミカル

外部環境の予測

- (+)ペロブスカイト型(PSC)太陽電池:社会実装の加速。
- (+)サステナブル素材の需要の拡大。
- (-)中国経済の減速による需要減。
- (-)素材調達のリスク(気候変動、為替、ウクライナ情勢など)。
- (-)海外競合の参入による価格競争の激化。

活動方針

- ・「選択と集中」の継続と将来のコア事業の育成。
- ・PSC太陽電池材料:次世代素材の開発の推進。
- ・WG誘導体:市場環境に見合う効率的生産体制の推進。
- ・脂肪酸アマイド:
サステナブル社会に貢献する用途の売上拡大。
- ・コーティング剤:
中国、台湾市場における顧客獲得と売上拡大。



2024年度予想

環境衛生製品

ハイジーン

外部環境の予測

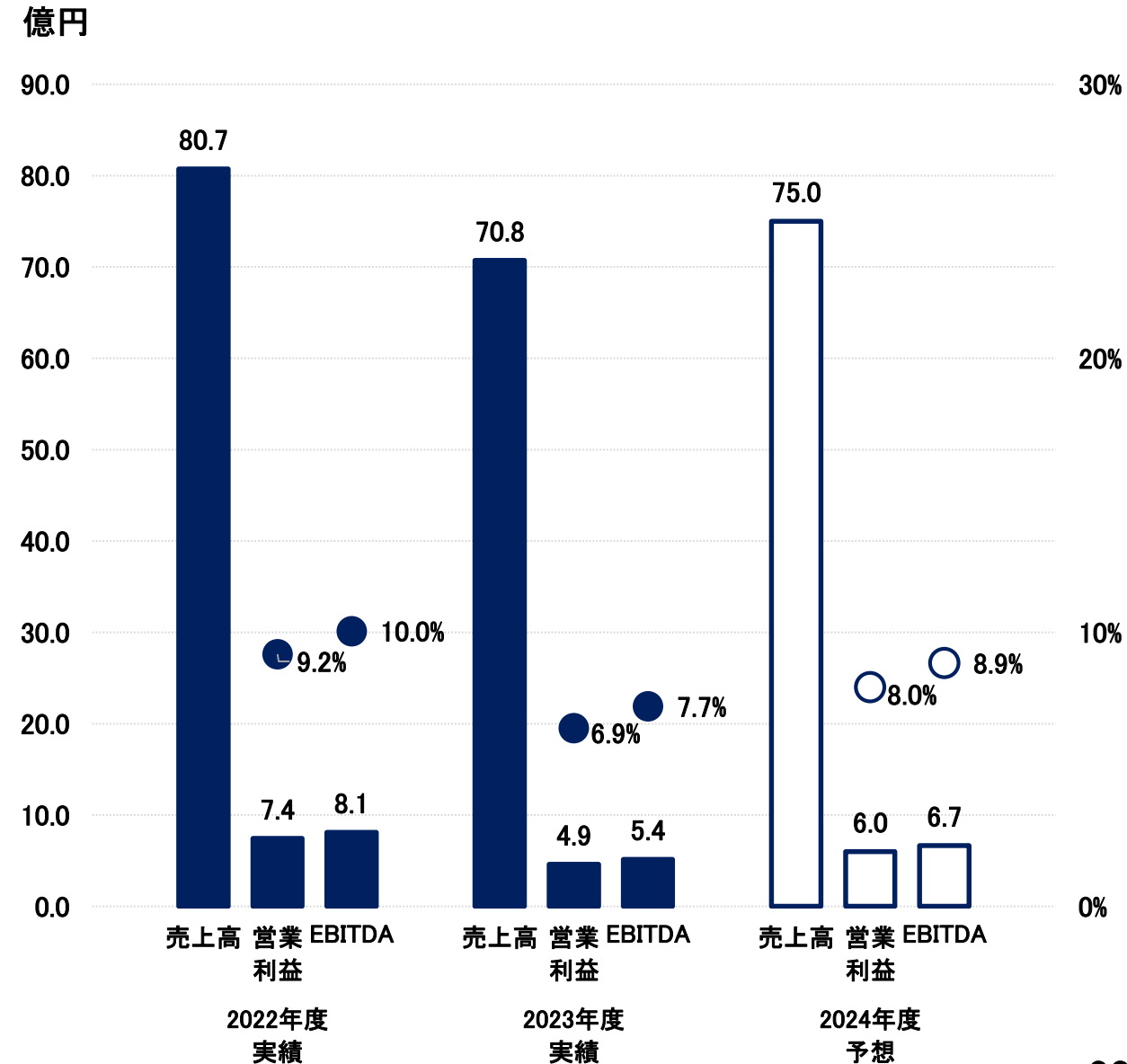
- (+) コロナ禍を経て社会的な衛生意識の高まり。
- (+) 病院・介護市場の成長。
- (+) 食品業界のHACCPの義務化。
- (±) コロナ禍を経た需給バランスの変化。
- (-) 各種原材料価格、運賃の上昇。

活動方針

- ・サステナブル製品(濃縮タイプなど)の開発の加速。
- ・相互の資源を活用したグループシナジーの強化。
- ・フードビジネス分野へ差別化製品を拡販し顧客獲得。
- ・病院・介護施設向け製品での顧客獲得。

*HACCP(ハサップ) :

食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を除去又は低減させるために、特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。



内容

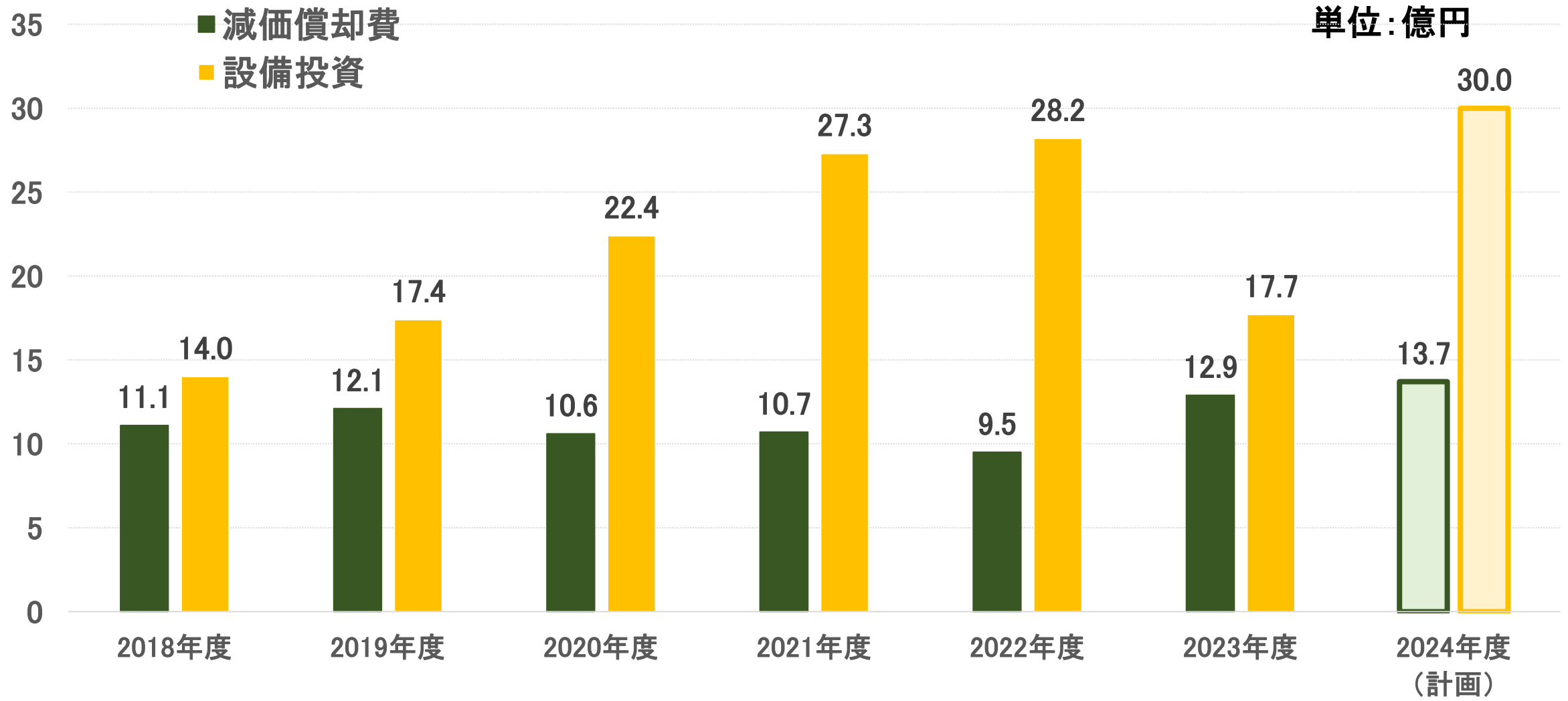
1. 2024年3月期 通期業績概要

2. 2025年3月期 通期業績予想

3. 設備・研究開発投資

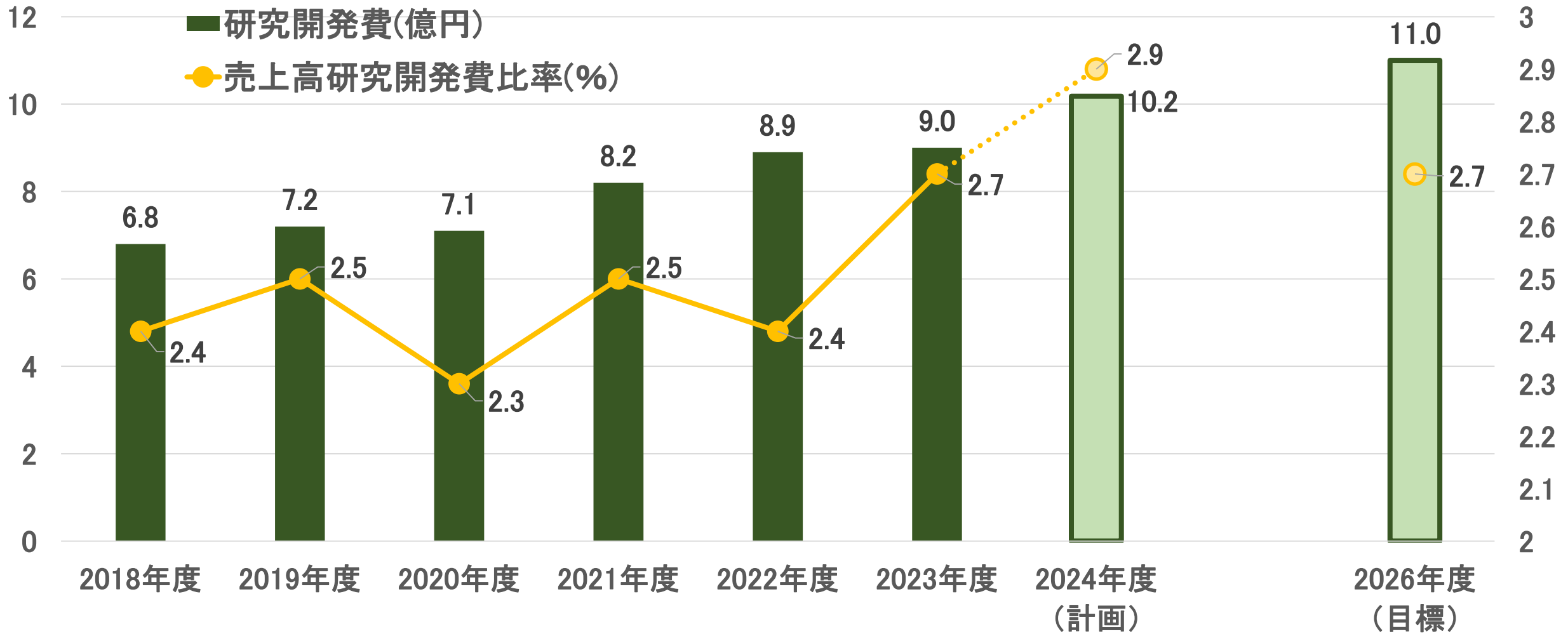
4. 資本政策

設備投資



■ 第14次中期経営計画(4年間:2023-2026年度)で総額120億円を計画

研究開発投資



- マテリアリティ実行による生産活動のサステナブル化
- 将来のコア技術の創出(フローリアクターの検討)

内容

1. 2024年3月期 通期業績概要
2. 2025年3月期 通期業績予想
3. 設備・研究開発投資
- 4. 資本政策**

資本政策

	第13次中期経営計画					第14次中期経営計画		
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2026年度
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予想	目標
DOE(%)	2.0	2.1	2.1	3.0	3.0	3.5	3.5 (目安)	3.5 (目安)
一株当たり配当額	30円	33円	35円	54円	57円	70円	74円	80円
総還元性向(%)	31	30	30	45	79	77	平均50%以上(*1)	
政策保有株式比率(%)	27	23	28	24	25	24	—	17%以下

(*1) 第14次中期経営計画の期間中で平均50%以上

- 2023年度 政策保有株式売却実績 12.6億円
- 配当総額 15.9億円
- 自社株式取得実績 35万株 9.9億円
- 配当8期連続増配見通し

※DOE : 連結純資産配当率 (年間配当総額 ÷ 連結純資産、若しくは配当性向 × ROE)

総還元性向 : (配当総額 + 自己株式取得額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益

政策保有株式比率 : 「保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式」の「貸借対照表計上額の合計額」が連結純資産に占める比率

- 本資料に記載している業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。
- Spirokite／スピロカイトは、日本精化株式会社の登録商標です。